

箕島球友会が優勝!

全日本クラブ野球選手権

7年ぶり2回目

◇1回戦

サウザンリーフ市原

0001010002

01000110×3

箕島球友会

◇2回戦

箕島球友会

1010000002

0000000000

東北マークス

◇準決勝

水沢駒形野球倶楽部

1000000001

01010001×3

箕島球友会

箕島球友会

0000000202

0000000000

ミキハウスREDS

第39回全日本クラ

ブ野球選手権大会

が、このほど埼玉県

所沢市の西武ドーム

で開かれ、和歌山箕

島球友会が7年ぶり

2回目の優勝を飾っ

た。

初戦のサウザンリ

ーフ市原を1点差で

下した箕島は、2回

戦で三宅が東北マー

クス打線を完封。打

線も初回到山口の中

前打を足掛かりに1

点を先制。3回には

再び山口が左前打と

2盗で好機を広げ、

主砲・藤田の中前適

時打で1点を加え、

快勝した。

勢いに乗る箕島は

準決勝で黒川が好

投。初回到1点を許

したものの、水沢駒

形打線を散発4安打

最高殊勲選手賞を獲得した三宅選手



に抑え完投した。味の上田が右中間を破方打線も2回、1死る3塁打で1点を勝ち越した。2塁から上田の左翼ミキハウスRED線を抜く2塁打で同点に追い付くと、4Sとの決勝は、三宅が先発のマウンドを務めた。初回、2死はチームメイトで、



7年ぶり2回目の優勝を決めた箕島球友会メンバー

から連打を浴び、16打数9安打・打率5割6分3厘の山口と力強く話した。《箕島球友会》監督は西川忠宏、ヘッドコーチは原井和也、コーチは芝野泰亮、コーチ兼選手は宮野鷹人、平木公川、端博文、マネジャーは下洗平、主将は北匠央、選手は井木将晴、矢崎大、御田悠太、黒川弘勝、宮迫清二、高橋祐太、三宅悠、山田聖司、水田信一郎、土井宏之、上田永力、北伸司、山口貴樹、藤田和、児玉浩武、山下龍二、甲斐大貴、荻木龍太、高橋孝司、浦川拓人、福田勇馬、三宅将太、中尾茂喜、原井啓太郎、宮城憲、スタッフは角谷里紗、奥智世、上中宏記、中西智子

3塁のピンチを招いたが、次打者を左飛に討ち取り、2回以降は3塁を踏ませない力投を披露。7回に先頭打者に四球を与えたが、捕手水田の強肩が2盗を阻止、チームワークが2試合連続の完封劇をバックアップした。味方打線も、中盤まで相手投手を打ちあぐねたが8回、2死から浦川の右中間を破る2塁打が飛び出し、高橋の中間適時打で1点、さらに山口の右中間に運ぶ3塁打で2点目を挙げ、7年ぶりのクラブチャンピオンを勝ち取った。最高殊勲選手賞には箕島の三宅悠投手が輝き、首位打者賞はチームメイトで、